



2学期が始まりました！

学校に久しぶりに子供たちの元気な声が戻ってきました。やはり学校は子どもが主役、子供たちの元気な姿が似合います。保護者の皆様、地域の皆様、夏休み中は本校の子供たちを大切に健やかに育ててくださいありがとうございました。子供たちはいつもと違い家で過ごす時間が多かったのではないのでしょうか。皆様のご協力のもと、大きな事故や怪我もなく元気に笑顔で2学期を始業することができました。心より感謝申し上げます。2学期になり、コロナウィルスの感染状況の心配が増しております。急な分散登校や行事変更へのご理解・ご協力もありがとうございます。学校は、引き続き感染対策を強化して行って参ります。そして、子どもたちの学びが充実するよう教職員が一丸となって工夫しながら指導・支援に取り組んでいきます。2学期もよろしくお願いいたします。

アスリートに学ぶ

この夏は、東京オリンピックが開催されました。現在もパラリンピックが開催中です。開催に至るまでの意見や思いは様々で計り知れないところではありますが、いざ開催してみるとアスリートの活躍をみて手に汗を握り、胸を熱くした毎日を過ごし、気がつけばすっかりオリンピックの虜になっていました。テレビの前に釘付けになり、思わず拍手をしたり、感動の涙を流したりと熱い夏を過ごしました。子供たちも、オリンピックを見て、自分も何かできることを見つけ、挑戦したいという夢や希望を得られたのではないのでしょうか。

なぜ、アスリートのパフォーマンスはこんなにも感動を与えられるのか、そんな分析をしたコラムを見たことがあります。そこには、一流のアスリートの本番のパフォーマンスというのは、①最高のパフォーマンスへのこだわりと集中力 ②そのための日々の自己管理能力 ③他者への感謝の気持ちと使命感といったものが、その瞬間に凝縮されているからこそ、人々に感動を与えると記されていました。最高のパフォーマンスへのこだわりと集中力とは、言い換えると自分自身のベストを尽くすという意識が強烈な集中力を生んでいるということです。そして、日頃から心・技・体のいずれの面においても自分に真剣に向かい合い、自己管理を徹底することに加え、自分を支えてくれる周りの人への感謝のきもちや使命感で自分を高めてきたのです。このコラムを読んで、地道に努力を積み重ね、常に高い目標や使命感を追求し、達成している人たちのパフォーマンスやコメントだからこそ多くの人を感動できるのだと納得しました。

このようなことは、日常にも置き換えて考えることができます。子供たちの活躍は、たくさんの感動を与えてくれます。「こうしたい」という強い思いをもって、努力を積み重ね、皆と一体感をもって取り組むことは、学校の中でもたくさんあります。運動会や音楽会などの行事で感動できるのもその過程をたどっているからです。毎日の地道な努力の積み重ねが、成功を導く礎となり、それが人々に感動を与えるようになると思います。子供たちには、夢と希望を持って、前向きに生活をしてほしいと願います。

